



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

Vol. 60

No. 10

第2823例会
2021年12月14日号

WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2580地区

東京江東ロータリークラブ

2020~2021年度 テーマ

Serve to Change Lives

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
RI会長 ジュカール・メー 地区ガバナー 若林英博

誓願成就

～願いはかなえよう～
クラブ会長 小嶋映治

今日の卓話

次回例会案内

「60周年記念事業について」

小嶋会長、大澤秀利実行委員長

年末家族会

E-mail : koto.re@sweet.ocn.ne.jp http://www.koto-rotary.jp

例会報告

11/30 訂正出席率 80% (訂正無し)

11/30 会員数 21名中 16名

出席率 76%



会長・幹事報告



- ・本日 11 時より 12 月度定例理事会を開催しました。
- ・12 月度定例理事会報告

12/3日(金) ガバナー補佐エレクト研修・懇親会 (於: 東京ドームホテル) に大澤栄一ガバナー補佐エレクトが出席しました。

12/5日(日) ~ 8日(水) ロータリー研究会に大澤栄一ガバナー補佐エレクトが参加します。

12/10(金) 江東区人権週間行事「守ろう人権 講演のつどい」
(於: 江東区文化センターホール) に小嶋会長が出席します。
・12月のロータリー為替レートは1ドル@114円になります。



☆今週のワンポイントレッスン (No.8)

●クラブ年次総会とは

年次総会は、役員を選挙するため、及び現年度の収入と支出を含む中間報告並びに前年度の財務報告をする為に開催されます。この年次総会は、クラブ細則の定めるところに従い、12月31日までに開催されるものとします。

衛星クラブは、衛星クラブの為に役員を選挙する為、12月31日の前に年次総会を開催するものとします。(標準ロータリークラブ定款第7条)

ニコニコボックス



小嶋会長：熊川さん本日入会式です。よろしくお願いいたします。

板倉幹事：山本様、本日卓話よろしくお願いいたします。

小野会長エレクト：山本様、本日の卓話よろしくお願いいたします。楽しみです！

末次君：本日も宜しくお願ひします。

平手君：山本様、卓話楽しみにしております。

菅澤君：一年間お世話になりました。

伊藤(三)君：今年も残すところ1ヶ月となりました。健康に気を付けて頑張りましょう！

大澤(秀)君：いよいよ今年もカレンダー1枚になってしまいました。

青木君：いよいよ古希です。よろしくお願ひします。

大島君：山本さん、よろしくお願ひします。

大澤(栄)君：いよいよ12月！体調に気を付けて頑張りましょう！

益子君：山本さん、本日よろしくお願ひいたします。

河西君：本日も宜しくお願ひします。

堀君：今日もよろしくお願ひします。

伊藤(海)君：本日も宜しくお願ひします。

熊川君：本日入会の熊川です。よろしくお願ひいたします。

合計 74,000円
累計 584,500円

【配布物】ベイRC石渡会員より墨田川造船(株)の卓上カレンダー

事務局は午前10時から午後16時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

●例会場 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト21 東京内 TEL : 03(5683)5683 ●例会日 / 毎週火曜日 12時30分~13時30分
●事務局 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト21 東京内 TEL : 03(5632)3777 FAX : 03(5632)3737



専任しよう みんなの人生を豊かにするために



圧倒的劣等生が一流大学に逆転合格する方法



Youthree (株) 代表取締役 山本晃嗣様

本日は、劣等生と呼ばれる生徒たちの学力を飛躍的に向上させるための方法や考え方をお話します。また、昨年は私の考えを体現した大学受験塾を開業しましたので、塾での取組内容についてもお話致します。

「28」「65」この2つの数字は何を意味するのでしょうか。これは、私が大学受験勉強を開始したときの偏差値と実際に合格した大学の偏差値です。ただ、受験勉強は決して最初から順調なものでは有りませんでした。高校二年生の秋、高校を退学になりました。失意の生活の中、医学部に進学することを目標に受験勉強しよう一念発起し、駿台予備校に入塾しました。しかし、中学生のときからまともに勉強をしていなかった私は講義についていくことが出来ず、3ヶ月で辞めてしまいました。中学レベルから受験勉強をスタートする自分に残された道は独学しかありませんでした。試行錯誤を繰り返しながら、自分なりの勉強方法を確立してからは勉強が楽しくなり、最終的には北海道大学や早稲田大学に合格することができました。

このような経験から、現状では勉強をスタートすることすら困難な生徒向けの大学受験塾を開業しました。塾では、現状学力に関係なく人生の目標から逆算した「行きたい大学」に合格することを目標とするようにしています。また、問題の解き方を教えるような「授業」は行わず、自習のフォローをするというスタイルで指導を行っています。

学習の成果はどうしたら上がるのか考えると、至極単純で「学習の質×投下時間＝成果」という構造になります。成果(行きたい大学に合格)を出すためには、質と量の両方が伴っていることが必要です。勉強をしているけど、成績が上がらないという生徒の多くはこのどちらかが欠けてしまっているケースが多いです。

まず、学習の質こそ高いものの、投下時間がたりていないケース。最近では、インターネット等で情報が溢れているので、その情報から自分にあった情報を取捨選択して学習方法を確

立しているが、しっかりと時間をかけられていないため、思うような成果が上げられていないパターンです。一方で、投下時間は十分だが、学習の質が低いケース。学校や塾の宿題に追われているため時間はかけているがレベル似合っていないかたり、情報に溺れ無意味な勉強をひたすら続けているパターンなどがあります。

私の塾では、「学習コーチング」という独自のメソッドを構築し、学習の質を高めると同時に十分な量の投下時間を確保させるカリキュラムを実行します。学習コーチングとは大きく「学習のサポート」と「メンタル面のサポート」から成ります。

学習のサポートでは、「問題の解き方」を教えるような授業はせず、「正しい勉強のやり方」に導くような指導を行っています。まず、無駄な学習を避けるために市販の参考書3万冊の中から厳選した物を使用し、一人一人に合わせて受験まで学習計画を作成します。さらに、参考書ごとに勉強をどのように進めていくかを教えます。1週間ごとに進捗を確認し、勉強方法が間違っていないかを逐一チェックします。最後に勉強した内容が確実に定着しているかを確認するためのチェックを行います。定着が不十分と判断した場合は参考書を進めずもう1週間同じ範囲を実施するようにしています。このようなサイクルを回すことで生徒はだんだんと正しい学習方法を身につけることが出来ます。

メンタル面のサポートは、投下時間を確保するために行っています。勉強が楽しいと感じたり、自分にとって意味のあるものだと思えば自発的に学習するようになり、自ずと投下時間が増えます。具体的には、SBTやTPIEといったアスリート、ビジネスマン向けのコーチングメソッドを活用し(認定資格取得)、高校生向けにオリジナルに改良したものをカリキュラムとして用意しています。大学受験そのものをゴール設定とするのではなく、その先の理想的な人生のために勉強していることに気がつけば勉強＝苦でなくなります。

このような取り組みの結果、昨年の高校3年生は平均通塾期間8ヶ月ながら、偏差値14upを実現することが出来ました。

